

第 12 回議会報告会 報告書

地域名	南谷地区		
年月日	平成 27 年 4 月 24 日 (金)	会場名	南谷ふるさとセンター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 00 分
参加数	男 15 人	女 1 人	合計 16 人
班 長	深澤 巧	司会者	深澤 巧
報告者	水野雅広	書記	西村禮治
班員名	深澤 巧、西村禮治、水野雅広、竹浦昭男		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>①介護保険料はまた県下一高くなった。施設が多く充実したサービスもわかるのだが。</p> <p>②給食センターに 3 億円近く補正した。その要因と職員のミスに対する処分は。</p> <p>③健康づくり推進はよいが、スポーツ団体の補助金は減り施設利用料は高くなる。</p> <p>④氷ノ山国際スキー場に 3 億円近く計上された。我々の税金が、地元でなく他の地域で使われている思いがある。見直しはどうなっているのか。</p>	<p>①前期事業のための借金返済、今期事業の借り入れ、地域支援としてグループホームの整備もある。負担を抑えるならサービスを減らす、介護認定を厳しくすることしかない。</p> <p>②国庫補助事業で過去 2 回増額補正してきたが、申請時に算出ミスがあり、国、県とも気づかず担当者が変わって発覚した。整備後に国の監査で発覚した場合、大問題になる。市職員 3 人を処分した。</p> <p>③健康ポイントの導入で健康づくりが進み、医療費削減の期待がある。全天候運動場の利用料は周辺施設に比べ低かった。今後の維持管理のために改定はやむを得ない。</p> <p>④市は再開発でリフト、降雪機、駐車場整備をして平成 25 年 8 月から指定管理者に営業を任せた。実施年度がことしということである。リフト収入が 5,000 万円の場合、地元雇用その他経済効果は 4～5,000 万円と見込まれる。</p>	
意見交換会での質疑	<p>①八鹿病院はどうなったか。</p>	<p>①外科医 4 人の補充はできたが、医師は 2 人減。姫路のがんセンターなど連携病院が増え、来年以降は奨学生 10 人の採用などにも期待している。院長から院内体制も整いつつあると聞いている。</p> <p>今回の問題で、議会は管理者、不満のあった医師団双方と接点を持つなどかつてない活動をし、申し入れも行った。</p>	

<p>その他 (提言など)</p>	<p>①合併して10年以上になるが、全市的な会議は全て八鹿か養父だ。</p> <p>②県議選は無投票だったが、市議会と県議の関わりはどうなっているか。</p> <p>③南谷診療所から開業医が出ていった。外来診察が再開されるよう議会も働きかけてほしい。</p>	<p>①関係部署や関係機関に伝える。</p> <p>②議会として6年以上接点はない。高校通学区域変更問題で、県議と市議会の立場は正反対だった。</p> <p>③地域医療の確保については、従前から努めている。</p>
-----------------------	---	---

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 27 年 5 月 11 日

報告者 3班 班長 深澤 巧 印

